

第 156 回 日本循環器学会東北地方会

プ ロ グ ラ ム

会 期：平成 25 年 6 月 1 日（土）午前 8 時 35 分より

会 場：岩手医科大学附属循環器医療センター

（創立 60 周年記念館）

盛岡市中央通 1－2－1

TEL 019 (651) 5111

第 1 会場：9F 第 1 講義室

第 2 会場：8F 研修室

第 3 会場：3F 研修室

会長 奥 村 謙

事務局：弘前大学大学院医学研究科

循環呼吸腎臓内科学講座

弘前市在府町 5

TEL 0172 (39) 5057

FAX 0172 (35) 9190

○当日受付にて参加費のお支払いをお願いいたします。

（医師 3,000 円 コメディカル 1,000 円 学生・初期研修医 無料）

○一般演題：発表時間は 5 分（予鈴 4 分）、追加討論 2 分、YIA の発表時間は 7 分（予鈴 6 分）、追加討論 3 分とします。時間厳守をお願いします。

コンピュータープレゼンテーションによる発表のみとします。

Windows 版 Power Point 2000、2002、2003、2007、2010 で作成して下さい。

・動画は使用できません。

・Macintosh 及び持込 PC での発表はできません。

・発表 30 分前までに、作成したデータを USB メモリーにに入れて PC 受付にお持ち下さい。

・データのファイル名には演題番号（半角）に続けて発表者の氏名（漢字）を必ず付けて下さい（例：10 東北太郎.ppt）。

・不測の事態に備えて必ずバックアップデータをお持ち下さい。

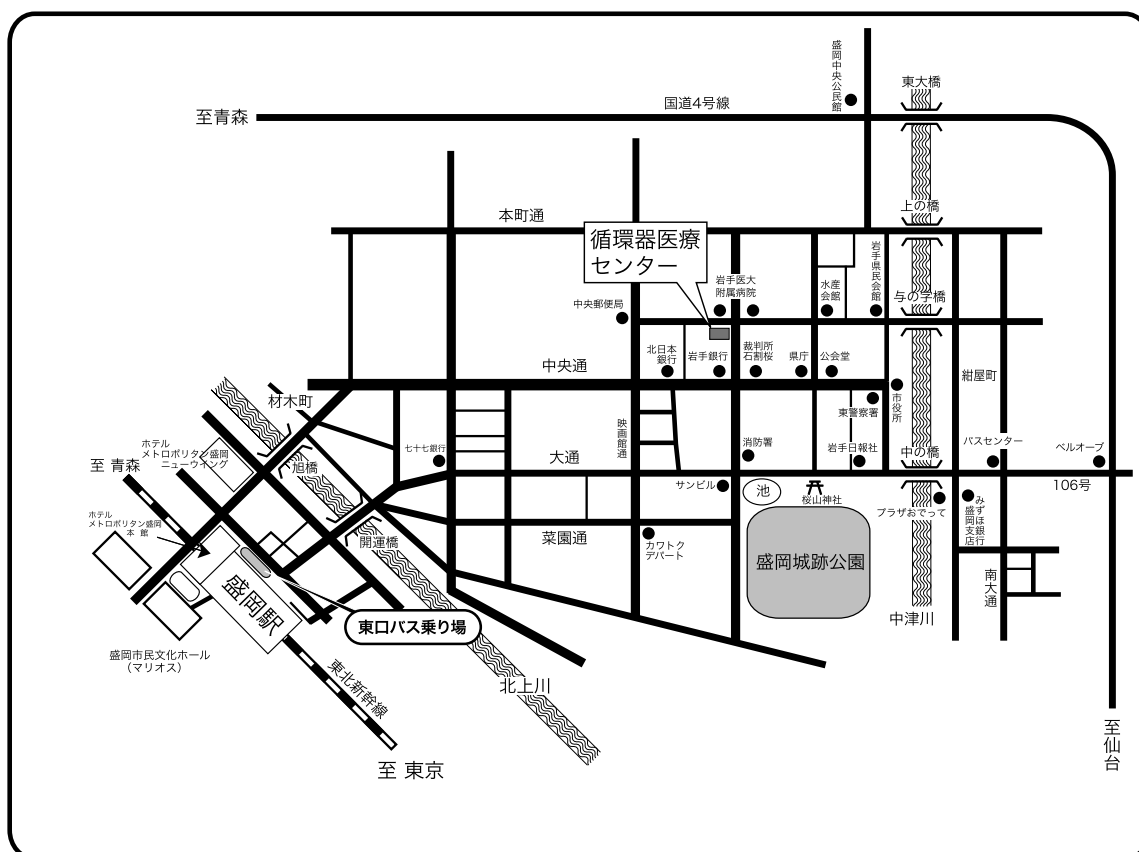
*35mm スライドによる発表はできません。

○学術集会（5 単位） 教育セッション（3 単位）とします。

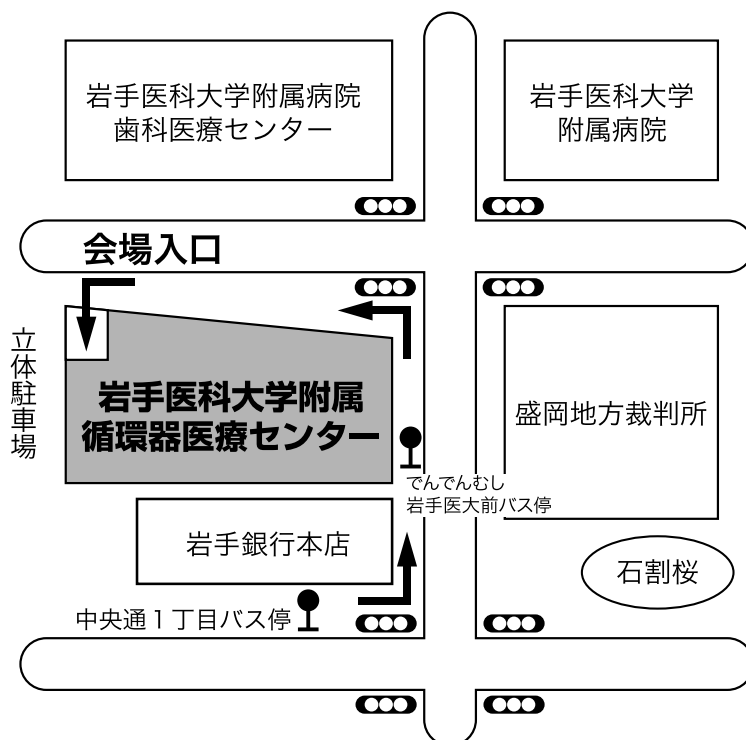
○DVD セッション「医療安全・医療倫理に関する講演会」を 4F カンファランスルームで行います。専門医認定更新に必修の 2 単位が取得できます。（P.25）

追記：学会案内状・プログラムは、原則として日本循環器学会会費納入者に限り発送いたします。

会場案内図



バス 盛岡駅からは東口バス乗り場より⑥番発 「盛岡バスセンター方面」、「中央通一丁目」で下車。
所要時間は10分です。
※⑮番発 盛岡都心循環バス「でんでんむし」大人100円 「岩手医大前」下車。

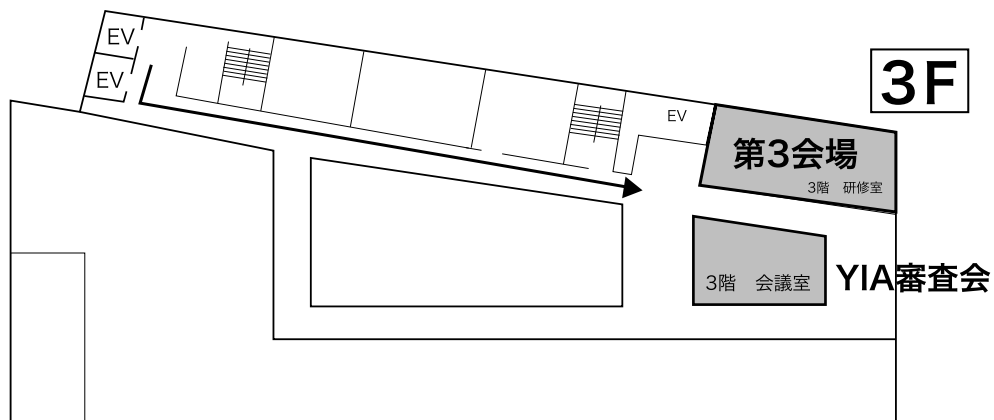
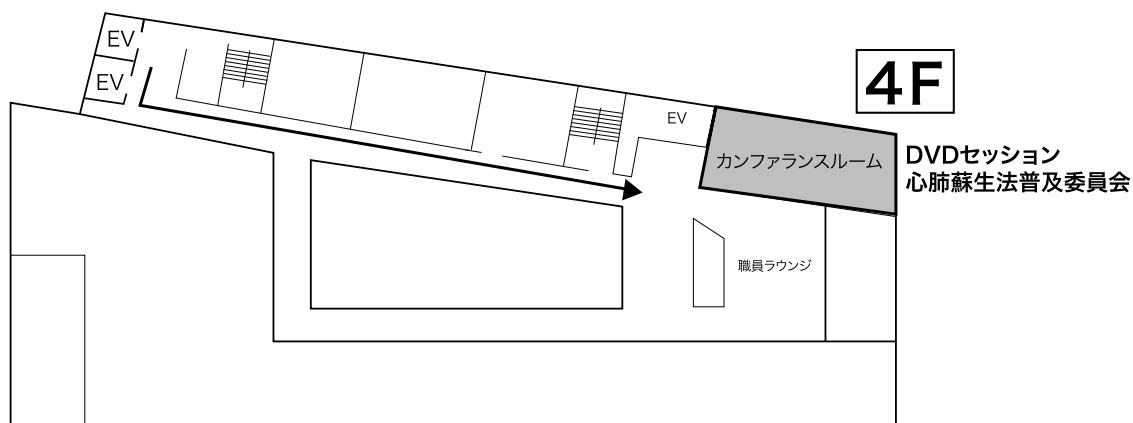
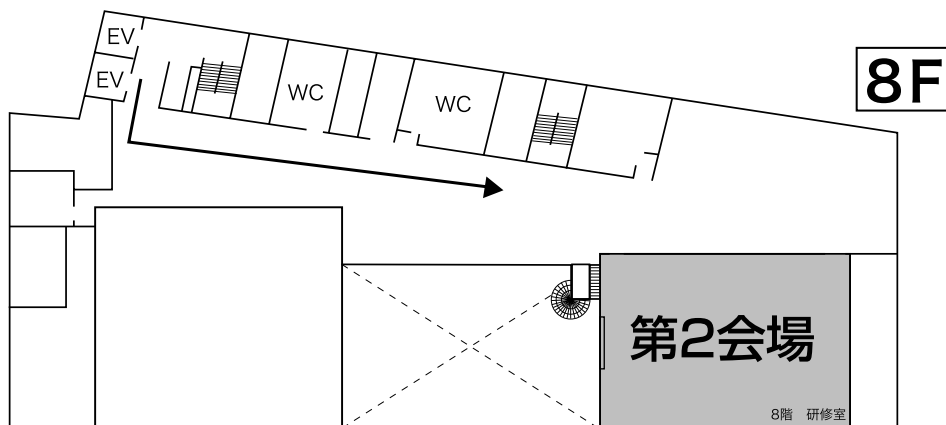
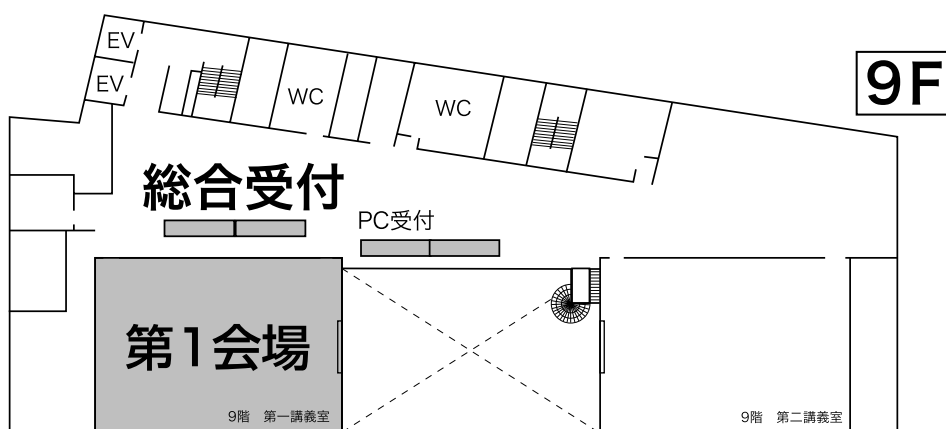


会場入口

当日、岩手医科大学附属循環器医療センター（創立60周年記念館）への入場は、センター正面右側、歯科医療センターとの間の通路を進み奥の入口をご利用ください。入ってすぐエレベーターがございます。

※総合受付、PC受付は9階です。

会場内案内図



プログラム（敬称略）

第1会場 (9階 第1講義室)	第2会場 (8階 研修室)	第3会場 (3階 研修室)	カンファレンスルーム (4階)	会議室 (3階)
8:00～ 受付開始				
8:35～8:40 開会挨拶 会長：奥村 謙 (弘前大学)				
8:40～9:30 YIA症例発表部門 会長：奥村 謙 (弘前大学)	8:40～9:15 虚血性心疾患 1 座長：高橋 潤 (東北大学)	8:40～9:15 心筋症・心膜疾患 座長：宮本 卓也 (山形大学)		
9:30～10:10 YIA研究発表部門 会長：奥村 謙 (弘前大学)	9:15～9:50 虚血性心疾患 2 座長：国井 浩行 (福島県立医科大学)	9:15～9:50 移植 外科 座長：杉村宏一郎 (東北大学)		
10:10～10:45 肺循環・末梢血管 座長：阿部 直樹 (弘前大学)	9:50～10:25 不整脈 1 座長：八木 卓也 (岩手県立胆沢病院)	9:50～10:25 弁膜症 その他 座長：福井 昭男 (山形県立中央病院)	9:30～11:00 DVDセッション 「医療安全・医療倫理に 関する講演会」	
10:45～11:13 心不全 座長：佐々木真吾 (弘前大学)	10:25～11:00 不整脈 2 座長：武田 寛人 (太田西ノ内病院)	10:25～11:00 大動脈疾患 その他 座長：飯野 健二 (秋田大学)		10:20～10:55 YIA審査会 集 計 (10:20～10:40) 審査会 (10:40～10:55)
	11:00～11:35 不整脈 3 座長：五十嵐知規 (中通総合病院)	11:00～11:28 先天性心疾患 その他 座長：中村 明浩 (岩手県立中央病院)	11:15～11:25 心肺蘇生法普及委員会	
11:45～12:30 総会・YIA授賞式				
12:40～13:40 教育セッション1 ランチョンセミナー1 植木 浩二郎 東京大学医学部 糖尿病・代謝内科 座長：森野 禎浩 (岩手医科大学)	12:40～13:40 教育セッション2 ランチョンセミナー2 家子 正裕 北海道大学歯学部 内科学講座 座長：久保田 功 (山形大学医学部)			
13:40～14:40 教育セッション3 特別講演 小林 欣夫 千葉大学 循環器内科学 会長：奥村 謙 (弘前大学)				

※平成24年度より、総会は支部評議員により構成し、審議されます。
従来通り一般会員の先生方のご参加は可能ですが、議決権は有しません。

YIA症例発表部門（第1会場）（8：40～9：30）

座長 奥村 謙

1. ARDSにより不幸な転機をたどった薬物治療抵抗性感染性心内膜炎の1例

福島県立医科大学 医学部 循環器・血液内科学講座 ○中村 裕一、国井 浩行、黒岩 大地
佐藤 彰彦、上岡 正志、義久 精臣
中里 和彦、鈴木 均、斎藤 修一
竹石 恭知

2. 腫瘍内出血を合併した左房粘液腫の1例

秋田大学大学院 医学系研究科 循環器内科学・呼吸器内科学 ○奈良 育美、飯野 貴子、関 勝仁
小熊 康教、飯野 健二、渡邊 博之
伊藤 宏
同上 心臓血管外科学 山本 文雄

3. 胸郭ギプス圧迫によるSIADHから急激な低ナトリウム血症を来した慢性心不全の1例

山形大学 医学部 第一内科 ○安藤 薫、渡邊 哲、西山 悟史
穴戸 哲郎、田村 晴俊、高橋 大
有本 貴範、宮下 武彦、宮本 卓也
久保田 功

4. 失神の原因となった心室性期外収縮起因性一過性心室細動に対してアブレーション治療が有効であった一例

東北大学 循環器内科学 ○長谷部雄飛、中野 誠、若山 裕司
近藤 正輝、佐竹 洋之
ABDEL-SHAFFEE MOHAMED
福田 浩二、下川 宏明

5. ATP感受性心房頻拍の緩徐伝導路の同定とカテーテルアブレーション

弘前大学医学部 循環呼吸腎臓内科 ○金城 貴彦、木村 正臣、石田 祐司
伊藤 太平、堀内 大輔、佐々木憲一
佐々木真吾、奥村 謙

6. 心膜下脂肪厚は冠動脈病変と関連する
—心エコー法と心臓CTによる比較検討—

福島県立医科大学 ○大和田卓史、及川 雅啓、山内 宏之
待井 宏文、三阪 智史、八巻 尚洋
杉本 浩一、国井 浩行、中里 和彦
鈴木 均、斎藤 修一、竹石 恭知

7. 慢性心不全患者における睡眠時呼吸障害と致死的不整脈イベントの検討

東北大学 循環器内科学 ○佐竹 洋之、福田 浩二、近藤 正輝
中野 誠、長谷部雄飛
ABDEL-SHAFFEE MOHAMED
若山 裕司、杉村宏一郎、下川 宏明
仙台医療センター 篠崎 毅

8. 脳由来神経栄養因子 (brain-derived neurotrophic factor: BDNF) は心不全患者の予後予測因子となる

山形大学 医学部 第一内科 循環器内科 ○門脇 心平、穴戸 哲郎、成味 太郎
大瀧陽一郎、本多 勇希、本田晋太郎
長谷川寛真、西山 悟史、高橋 大
有本 貴範、宮下 武彦、宮本 卓也
渡邊 哲、久保田 功

9. ASV療法は抗炎症作用と交感神経活性抑制作用を介して心不全患者の心機能を改善する

秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学 ○田村 善一、小山 崇、小熊 康教
寺田 豊、飯野 健二、小坂 俊光
渡邊 博之、伊藤 宏

第1会場

肺循環・末梢血管 (10:10 ~ 10:45)

座長 阿部 直樹

10. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症の末梢肺動脈における光干渉断層法を用いた評価

東北大学 循環器内科学 ○杉村宏一郎、福本 義弘、三浦 裕
後岡広太郎、建部 俊介、三浦 正暢
佐藤 公雄、下川 宏明

11. 胸郭変形による肺高血圧症の一例

八戸赤十字病院 循環器内科 ○肥田 龍彦、後藤 巖、菅原 正磨

12. 深部静脈血栓症および肺塞栓症を合併した潰瘍性大腸炎の一例

白河厚生総合病院 第二内科 ○根岸 紘子、佐藤 彰彦、泉田 次郎
斎藤 恒儀、斎藤 富善、前原 和平
福島県立医科大学 循環器血液内科学講座 竹石 恭知

13. 右総腸骨動脈瘤動静脈瘻が原因と考えられる急性心不全の一例

山形県立中央病院循環器内科 ○田中 修平、福井 昭男、菊地 翼
高橋 克明、高橋健太郎、玉田 芳明
松井 幹之、矢作 友保、後藤 敏和

14. 総腸骨動脈の限局性解離により間歇性跛行を来した一例

日本海総合病院 循環器内科 ○桐林 伸幸、豊島 拓、高橋 徹也
齋藤 博樹、沓沢 大輔、近江 晃樹
菅原 重生
山形大学医学部第一内科 久保田 功

第1会場

心不全 (10:45 ~ 11:13)

座長 佐々木真吾

15. 弁膜症手術後に心臓再同期療法を施行し改善をみた重症心不全の一例

日本海総合病院 循環器内科 ○豊島 拓、高橋 徹也、齋藤 博樹
桐林 伸幸、沓沢 大輔、近江 晃樹
菅原 重生
山形大学医学部附属病院 第一内科 久保田 功

16. トルバプタンが著効した心不全の2症例

岩手医科大学 内科学講座 心血管・腎・内分泌分野 ○肥田 親彦、照井 克俊、高橋 智弘
小島 剛史、田中 文隆、瀬川 利恵
中村 元行
岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野 森野 禎浩

17. 心不全患者における介護予防必要度と予測因子の検討 CHART-2研究からの報告

東北大学 循環器内科学 ○三浦 正暢、坂田 泰彦、後岡広太郎
高田 剛史、宮田 敏、高橋 潤
下川 宏明

18. トルバプタンが有効であった肝硬変による大量の腹水を伴った心不全症例

財太田総合病院附属太田西ノ内病院 循環器センター ○松岡 直記、武田 寛人、野寺 穰
石田 悟朗、藤田 禎規、遠藤 教子
金澤 晃子、新妻 健夫、小松 宣夫
福島県立医科大学 循環器血液内科 竹石 恭知

第2会場

虚血性心疾患 1 (8:40 ~ 9:15)

座長 高橋 潤

19. 閉塞部から分岐する対角枝と血管内超音波使用がワイヤー通過に有効であった慢性完全閉塞の1例

東北大学 循環器内科学 ○白戸 崇、高橋 潤、松本 泰治
伊藤 愛剛、圓谷 隆治、二瓶 太郎
中山 雅晴、伊藤 健太、下川 宏明

20. Very torcious lesionに対し4F KIWAMIを用いたmother-and-child techniqueが有用だった一例

鶴岡市立荘内病院 循環器科 ○保屋野 真、藤木 伸也、佐藤 匡
小島 研司

21. バアメタルステント留置7年後に発症した遅発性ステント血栓症
— IVUS/OCT画像所見—

弘前大学医学部 循環呼吸腎臓内科 ○花田 賢二、樋熊 拓未、阿部 直樹
舘山 俊太、横山 公章、越前 崇
斎藤 新、長内 智宏、奥村 謙

22. 経皮的冠動脈形成術中に冠動脈破裂から心肺停止に至った一例

弘前大学医学部 循環呼吸腎臓内科 ○横山 公章、横田 貴志、舘山 俊太
花田 賢二、澁谷 修司、山田 雅大
阿部 直樹、樋熊 拓未、花田 裕之
長内 智宏、奥村 謙

23. 胸骨圧迫に伴う出血性合併症を来した、虚血性心疾患による院外心肺停止の2例

仙台市立病院 循環器内科 ○中川 孝、八木 哲夫、滑川 明男
石田 明彦、三引 義明、山科 順裕
佐藤 弘和、櫻本万治郎、佐藤 英二
小松 寿里

第2会場

虚血性心疾患 2 (9:15 ~ 9:50)

座長 国井 浩行

24. 救急外来での指示の簡略化はSTEMI症例のDTBTを短縮する

鶴岡市立荘内病院 循環器科 ○保屋野 真、藤木 伸也、佐藤 匡
小島 研司

25. 冠攣縮性狭心症による急性心肺停止蘇生例の特徴と予後

仙台市立病院 循環器内科 ○山科 順裕、八木 哲夫、滑川 明男
石田 明彦、三引 義明、佐藤 弘和
中川 孝、櫻本万治郎、佐藤 英二
小松 寿里

26. IgG4関連疾患に合併した冠攣縮性狭心症の1例

東北大学 循環器内科学 ○齋藤 綾子、松本 泰治、伊藤 愛剛
圓谷 隆治、白戸 崇、羽尾 清貴
中山 雅晴、伊藤 健太、杉村宏一郎
高橋 潤、下川 宏明
東北大学血液・免疫病学 中澤ちひろ、石井 智徳
東北大学 心臓血管外科学 神田 桂輔、川本 俊輔
東北大学 量子診断学 大田 英揮、高瀬 圭

27. 完全房室ブロックを呈した運動誘発性冠攣縮性狭心症の一例

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座 ○阿部 諭史、八巻 尚洋、渡邊 俊介
山内 宏之、佐藤 崇匡、神山 美之
鈴木 均、齋藤 修一、竹石 恭知

28. 徐脈性心房細動に冠攣縮が関与し心肺停止を来した一例

福島赤十字病院 循環器科 ○菅野 優紀、近藤 愛、阪本 貴之
渡部 研一、大和田尊之

第2会場

不整脈 1 (9:50 ~ 10:25)

座長 八木 卓也

29. 左側後壁 Carina 部の電気生理学的重要性が示唆された発作性心房細動の一例

仙台市立病院 循環器内科 ○佐藤 英二、八木 哲夫、滑川 明男
石田 明彦、三引 義明、山科 順裕
佐藤 弘和、櫻本万治郎、中川 孝
小松 寿里

30. Dominant frequency 解析から興奮ドライバーの肺静脈から上大静脈への移行が示唆された発作性心房細動の1例

弘前大学医学部 循環呼吸腎臓内科 ○堀内 大輔、金城 貴彦、石田 祐司
伊藤 太平、佐々木憲一、大和田真玄
木村 正臣、佐々木真吾、奥村 謙

31. Localized reentry を呈した Intra-isthmus reentry の1例

仙台市立病院 循環器内科 ○佐藤 弘和、八木 哲夫、滑川 明男
石田 明彦、三引 義明、山科 順裕
中川 孝、櫻本万治郎、佐藤 英二
小松 寿里

32. 部分肺静脈還流異常を伴う心房中隔欠損症における心房細動に対しカテーテルアブレーションを施行した1例

秋田県成人病医療センター ○寺田 健、阿部 芳久、田代 晴生
寺田 茂則、佐藤 匡也、門脇 謙
秋田大学大学院 循環器内科学 小山 崇、伊藤 宏

33. 経心房中隔法が有効であった左上大静脈遺残症例の房室回帰性頻拍に対するカテーテルアブレーション

鶴岡市立荘内病院 循環器科 ○藤木 伸也、保屋野 真、佐藤 匡
小島 研司
新潟大学医歯学総合病院 循環器内科 飯嶋 賢一、古嶋 博司
新潟大学医学部保健学科 池主 雅臣

第2会場

不整脈 2 (10:25 ~ 11:00)

座長 武田 寛人

34. His束から十分離れたslow-pathway領域の通電後に房室ブロックを生じた房室結節リエントリー性頻拍の一例

仙台市立病院 ○宮副 貴光、八木 哲夫、滑川 明男
三引 義明、石田 明彦、山科 順裕
佐藤 弘和、中川 孝、櫻本万治郎
佐藤 英二、小松 寿里

35. CARTO マッピングが有用であったMahaim束を介する房室回帰性頻拍の一例

弘前大学医学部 循環呼吸腎臓内科 ○金城 貴彦、木村 正臣、石田 祐司
伊藤 太平、堀内 大輔、佐々木憲一
佐々木真吾、奥村 謙

36. 心腔内エコーで得られた解剖学的情報が起源の同定に有用であった左冠尖由来の心室性期外収縮の一例

弘前大学医学部 循環呼吸腎臓内科 ○佐々木憲一、佐々木真吾、木村 正臣
堀内 大輔、伊藤 太平、石田 祐司
金城 貴彦、奥村 謙
青森県立中央病院 大和田真玄

37. CARTO SOUND が有用であった兩大血管右室起始症根治術後心室頻拍の一例

東北大学 循環器内科学 ○近藤 正輝、福田 浩二、若山 裕司
中野 誠、川名 暁子、長谷部雄飛
佐竹 洋之
ABDEL-SHAFFEE MOHAMED
下川 宏明

38. 両心室ペーシング率低下を来した心室性期外収縮に対しアブレーションが有効であった拡張型心筋症の1例

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座 ○金城 貴士、山田 慎哉、神山 美之
中里 和彦、斎藤 修一、竹石 恭知
福島県立医科大学 不整脈先端治療学講座 鈴木 均

第2会場

不整脈 3 (11:00 ~ 11:35)

座長 五十嵐知規

39. 遠隔モニタリングにてICD不適切作動でリード不完全断線が発見された一例

岩手県立中央病院 循環器科 ○阿部 秋代、遠藤 秀晃、野崎 英二
加賀谷裕太、神津 克也、佐藤謙二郎
中嶋 壮太、福井 重文、高橋 徹
中村 明浩

40. 頻拍鑑別アルゴリズムの限界が示唆された植込み型除細動器不適切作動の2例

弘前大学医学部 循環呼吸腎臓内科 ○石田 祐司、佐々木真吾、金城 貴彦
伊藤 太平、佐々木憲一、堀内 大輔
木村 正臣、奥村 謙

41. 発作時にJ waveを認めた若年性特発性心室細動の一例

東北大学 循環器内科学 ○中野 誠、福田 浩二、若山 裕司
近藤 正輝、長谷部雄飛、川名 暁子
佐竹 洋之
ABDEL-SHAFFEE MOHAMED
下川 宏明

42. 可逆性の左室壁運動異常を伴うQT延長症候群から心室細動stormに陥った1例

東北薬科大学病院 臨床初期研修医 ○佐藤 倫紀
東北薬科大学病院 循環器センター 田淵 晴名、長谷川 薫、河部 周子
菊田 寿、関口 祐子、山家 実
山中 多聞、中野 陽夫、片平 美明

43. 食事時間に一致して発作性高度房室ブロックをきたした一例

仙台市立病院 循環器内科 ○小松 寿里、滑川 明男、八木 哲夫
石田 明彦、三引 義明、山科 順裕
佐藤 弘和、中川 孝、櫻本万治郎
佐藤 英二

第3会場

心筋症・心膜炎 (8:40 ~ 9:15)

座長 宮本 卓也

44. 収縮性心膜炎の外科治療成績の検証

東北大学 心臓血管外科学	○横川 裕大、川本 俊輔、秋山 正年
	河津 聡、本吉 直孝、齋木 佳克
東北大学 循環器内科学	福本 義弘、下川 宏明

45. ミトコンドリア脳筋症の一例

岩手県立中央病院 循環器科	○神津 克也、福井 重文、阿部 秋代
	加賀谷裕太、佐藤謙二郎、中嶋 壮太
	遠藤 秀晃、高橋 徹、中村 明浩
	野崎 英二

46. ペースメーカー植え込み後に、心不全を契機に診断し得たサルコイドーシスの1例

石巻赤十字病院 循環器内科	○須貝 孝幸、小山 容、熊谷 遊
	橋本 直明、瀬津 俊介、玉淵 智昭
	祐川 博康

47. 完全房室ブロックにて発症し、心内血栓を認めた心サルコイドーシスの1例

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座	○佐藤 悠、小林 淳、渡邊 俊介
	大和田卓史、金城 貴士、中里 和彦
	竹石 恭知

48. 両心補助人工心臓を導入したが救命不可能であった劇症型心筋炎の1例

東北大学 循環器内科学	○後岡広太郎、福本 義弘、杉村宏一郎
	三浦 裕、建部 俊介、三浦 正暢
	山本 沙織、佐藤 公雄、下川 宏明
東北大学 心臓血管外科学	秋山 正年、川本 俊輔、齋木 佳克
東北大学病院 臓器移植医療部	秋場 美紀

第3会場

移植・外科（9：15～9：50）

座長 杉村宏一郎

49. 拡張型心筋症急性増悪に対しBridge to decisionを行った2症例の経験

東北大学 心臓血管外科学	○片平晋太郎、秋山 正年、本吉 直孝
	川本 俊輔、齋木 佳克
東北大学 循環器内科学	三浦 正暢、後岡広太郎、三浦 裕
	杉村宏一郎、福本 義弘、高橋 潤
	福田 浩二、下川 宏明

50. 重症心不全に対する補助人工心臓、心臓移植治療

東北大学 心臓血管外科学	○秋山 正年、川本 俊輔、齋木 佳克
東北大学 循環器内科学	福田 浩二、福本 義弘、下川 宏明

51. 両側内頸動脈閉塞、片側椎骨動脈閉塞例に対する心拍動下冠動脈バイパス術（OPCAB）

財団法人大原総合病院付属大原医療センター 心臓血管外科	○佐藤 善之、萩原 賢一、山口 修
	石橋 敏幸
福島県立医科大学 心臓血管外科	横山 斉

52. 心室中隔穿孔合併の急性心筋梗塞に対し、右室切開下2パッチ法による心室中隔穿孔閉鎖術で救済し得た一例

竹田総合病院 心臓血管外科	○伊藤 卓也、前場 覚、川島 大
---------------	------------------

53. 自己弁温存基部置換術の治療成績

東北大学 心臓血管外科学	○神田 桂輔、本吉 直孝、川本 俊輔
	齋木 佳克
東北大学 循環器内科学	福本 義弘、下川 宏明

第3会場

弁膜症 その他 (9:50 ~ 10:25)

座長 福井 昭男

54. 心臓超音波検査が診断に有用であったBarlow's Diseaseの一例

弘前大学医学部 循環呼吸腎臓内科 ○藤井 裕子、樋熊 拓未、阿部 直樹
横山 公章、富田 泰史、長内 智宏
奥村 謙

55. 心エコー図による大動脈弁狭窄症の重症度判定において、低圧較差を有する場合においても有用で鋭敏な指標

弘前大学医学部 循環呼吸腎臓内科 ○藤井 裕子、富田 泰史、横山 公章
阿部 直樹、樋熊 拓未、長内 智宏
奥村 謙

56. 開心術時に疑った大動脈弁二尖弁に合併する不整脈源性右室心筋症の1例

仙台循環器病センター ○磯村 彰吾、椎川 彰、細田 進

57. 急性と亜急性IEで開心術が施行できた2例の頭蓋内病変

岩手医科大学附属病院 心血管腎内分泌内科 ○田代 敦、肥田 親彦、中村 元行
岩手医科大学附属病院 循環器内科 新山 正展、石曾根武徳、阪本 亮平
房崎 哲也、伊藤 智範、森野 禎浩
中島 悟史、下田 祐大、三船 俊英
岩手医科大学付属病院 循環器放射線科 田中 良一、吉岡 邦浩
岩手医科大学付属病院 心臓血管外科 金 一、岡林 均

58. ダビガトラン不応例と考えられた心原性塞栓症の1症例

国立病院機構 仙台医療センター 循環器科 ○太田 健介、尾形 剛、藤田 央
山口 展寛、石塚 豪、尾上 紀子
田中 光昭、篠崎 毅

第3会場

大動脈疾患 その他 (10:25 ~ 11:00)

座長 飯野 健二

59. 当センターでのバルサルバ洞動脈瘤破裂症例の検討

岩手医科大学 内科学講座 心血管腎内分泌内科分野

岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野

岩手医科大学 心臓血管外科学講座

○石曾根武徳、新山 正展、田代 敦
中村 元行、
伊藤 智範、木村 琢巳、石川 有
阪本 亮平、中島 悟史、房崎 哲也
森野 禎浩
岡林 均

60. 経食道心エコー図が診断に有用であった大動脈解離術後グラフト感染症の1例

仙台厚生病院 心臓血管センター 循環器内科

仙台厚生病院 心臓血管センター 心臓血管外科

○箴井 宣任、多田 憲生、井筒 大人
南條 光晴、加畑 充、田中綾紀子
三宅 弘恭、伊澤 毅、堀江 和紀
榎田 俊生、武蔵 美保、上村 直
櫻井 美恵、鈴木 健之、本多 卓
大友 潔、滝澤 要、大友 達志
井上 直人、目黒泰一郎
畑 正樹、

61. 心エコー時に行う腹部大動脈瘤スクリーニングの有用性

社会医療法人

○篠崎真莉子、佐藤 誠、播間 崇記
五十嵐知規

62. 動悸の原因精査にSpiderflash-t®が有効であった1例

岩手医科大学内科学講座 心血管・腎・内分泌内科分野

○芳沢 礼佑、小澤 真人、小松 隆
佐藤 嘉洋、梶田 房紀、中村 元行

63. PCI後に原因不明の右大腿部腫瘍が出現した一例

太田綜合病院附属太田西ノ内病院

福島県立医科大学

○肱岡奈保子、新妻 健夫、野寺 穰
金澤 晃子、石田 悟朗、遠藤 教子
藤田 禎規、小松 宣夫、武田 寛人
山本 晃裕、高橋 皇基、丹治 雅博
竹石 恭知

第3会場

先天性心疾患 その他 (11:00 ~ 11:28)

座長 中村 明浩

64. 仙台厚生病院におけるAmplatzer 閉鎖栓による経皮的動脈管開存閉鎖術の経験

仙台厚生病院 ○富樫 大輔、多田 憲生、櫻井 美恵
滝澤 要、目黒泰一郎、井上 直人
大友 達志、大友 潔、鈴木 健之
上村 直、武蔵 美保、榎田 俊生
堀江 和紀、伊澤 毅、三宅 弘恭
箴井 宣任、加畑 充、水谷有克子
井筒 大人、田中綾紀子

65. 仙台厚生病院におけるAmplatzer 閉鎖栓による経皮的心房中隔欠損閉鎖術の成績

仙台厚生病院 循環器科 ○多田 憲生、滝澤 要、櫻井 美恵
大友 達志、大友 潔、鈴木 健之
上村 直、榎田 俊生、伊澤 毅
三宅 弘恭、箴井 宣任、水谷有克子
井筒 大人、田中綾紀子、井上 直人
目黒泰一郎

66. アイゼンメンジャー化した心房中隔欠損症を伴うダウン症候群に肺血管拡張薬を用い根治手術に到達した一例

脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院 小児心臓外科 ○森島 重弘、小野 隆志
脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院 小児・生涯心臓疾患研究所 中澤 誠

67. MDCTが極めて有用であったunroofed coronary sinusの症例

福島県立医科大学 ○神 雄一郎、杉本 浩一、坂本 信雄
鈴木 聡、佐藤 彰彦、及川 雅啓
鈴木 均、斎藤 修一、竹石 恭知
南相馬市立病院 鈴木 史雄

今回は3会場を使用します。

第1会場（9階 第1講義室）

第2会場（8階 研修室）

第3会場（3階 研修室）

4階カンファレンスルーム

YIA 審査

10：20 ～ 10：55（3 F：会議室）

DVD セッション

9：30 ～ 11：00（4 F：カンファレンスルーム）

心肺蘇生法普及委員会

11：15 ～ 11：25（4 F：カンファレンスルーム）

総会・YIA 授賞式

11：45 ～ 12：30（9 F：第1会場）

教育セッション 1

ランチョンセミナー 1

12：40 ～ 13：40（第1会場）

座長 岩手医科大学 内科学講座 循環器分野 教授 森野 禎浩 先生

『2型糖尿病治療の課題と展望 ―いかに患者の健康寿命を延ばすのか―』

東京大学大学院 医学系研究科 糖尿病・代謝内科

准教授 植木 浩二郎 先生

共催：MSD(株)

教育セッション 2

ランチョンセミナー 2

12：40 ～ 13：40（第2会場）

座長 山形大学医学部 内科学第一講座 教授 久保田 功 先生

『凝固反応の基礎と抗凝固療法』

北海道医療大学 歯学部 内科学講座

教授 家子 正裕 先生

共催：第一三共(株)

教育セッション 3

特別講演

13：40 ～ 14：40（第1会場）

座長 弘前大学大学院医学研究科 循環呼吸腎臓内科学講座 教授 奥村 謙 先生

『心血管インターベンションの現状と未来』

千葉大学大学院医学研究院 循環器内科学

教授 小林 欣夫 先生

一般社団法人日本循環器学会東北支部規則

（総則）

第1条 この会は一般社団法人日本循環器学会東北支部（以下「本支部」という。）と称し、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という。）の支部とする。

（事務局）

第2条 本支部の事務局は、東北大学大学院医学系研究科循環器内科学に置く。

（目的および事業）

第3条 本支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 東北支部における年2回の学術集会（地方会）の開催
- 2) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 3) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての東北支部における講習会等の開催
- 4) その他目的の達成に必要な事業

（会員）

第4条 本支部の会員は、勤務先または居住地が日本循環器学会定款施行細則第16条に定める東北地区にある日本循環器学会の会員とする。

2. 本支部に名誉支部員・名誉特別会員を置く。

- 1) 名誉支部員は年齢65歳以上の会員で、支部評議員を3期以上務めた者とする。

総会に出席して意見を述べるができるが、議決権は有しない。

- 2) 名誉特別会員は名誉支部員の条件に加え、東北地方会で会長を務めた者、支部長を務めた者とする。処遇については、名誉支部員に準用する。

（社員の選出）

第5条 日本循環器学会本部からの委託により、本支部にて日本循環器学会の社員を選出する。

2. 選出する社員数は、日本循環器学会から指定された数とする。

3. 選挙権および被選挙権をもつ者は、本支部の会員とする。

（支部選挙管理委員会）

第6条 本支部に東北支部選挙管理委員会（以下「選挙管理委員会」という。）を置き、社員選出手続きを担当する。

2. 選挙管理委員会の委員長は、支部監事または支部幹事から選出し、支部総会で選任する。

3. 選挙管理委員は、会員から選出し、支部総会で選任する。

4. 選挙管理委員長は、選挙結果を支部総会および日本循環器学会に報告する。

（社員選出方法）

第7条 第6条に定める社員は、第3条に定める会員の無記名投票により選出する。

2. 会員一人につき、一個の投票権とする。

3. 各都道府県毎の最多得票者を当選者として選出した後、全地区を対象として得票数の多い順から、第5条第2項に定める選出すべき数までを当選者とする。

（社員の補充）

第8条 日本循環器学会から社員補充の依頼があった場合は、選挙管理委員会が直前の選挙結果に基づき得票数の多い順から補充すべき数までを社員として補充する。

2. 前項の規程に関わらず、前条第3項の都道府県条件を満たさない場合には、その条件を優先して補充する。

(支部評議員)

第9条 本支部に支部評議員若干名を置くことができる。

2. 支部評議員は、下記の規則に基づいて会員から選出し、支部総会で選任する。
3. 支部評議員の選出・辞職についての規程は、別に定める。
 - 1) 支部評議員の推薦を希望する者は、推薦理由と推薦される者の略歴を支部長に提出する。推薦の資格を有する者は本支部の日本循環器学会社員とする。
 - 2) 任期途中で支部評議員の辞職を希望する者は、理由を記した書面を支部長に提出する。
 - 3) 支部評議員の辞職および推薦は、支部総会の同意を必要とする。
4. 支部評議員は、総会を組織し、支部長の求めに応じて支部の運営についての諮問を行う。
5. 支部評議員の任期は4年とし、再任は妨げない。役員に欠員が生じた場合は速やかに補充し、その任期は前任者の残任期間とする。

(支部長)

第10条 本支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は日本循環器学会理事から選出し、支部総会において選任する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期および定年については、日本循環器学会定款および定款施行細則に準ずる。

(支部幹事)

第11条 本支部に支部幹事若干名を置く。

2. 支部幹事は会員から支部総会において選任する。
3. 支部幹事は支部長を補佐し、支部運営にあたる。
4. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部監事)

第12条 本支部に支部監事若干名を置く。

2. 支部監事は会員から支部総会において選任する。
3. 支部監事は支部の事業および会計について監査を行い、不正の事実があれば支部総会あるいは日本循環器学会に報告する。
4. 支部監事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(地方会会長)

第13条 本支部に地方会会長1名を置く。

2. 地方会会長は会員から支部総会において選任する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理および事業内容を支部長に報告する。
4. 地方会会長の任期は、直前の地方会終了日の翌日から主催地方会終了日までとする。

(支部総会)

第14条 支部総会は、日本循環器学会の社員および支部で選出した支部評議員で構成する。

2. 支部総会は年1回以上開催し、以下の事項を審議する。
 - 1) 地方会会長の選出
 - 2) 地方会開催地の決定
 - 3) 支部事業計画および事業報告
 - 4) 社員および支部評議員の選出
 - 5) 本会規則の変更
 - 6) その他本会の運営に必要な事項
3. 支部総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは、支部監事が招集する。この場合、議長は支部総会議員の互選により選出する。
4. 支部総会は、支部総会議員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示した者、および他の支部会員を代理人として表決を委任した者は出席者とみなす。
5. 支部総会の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(運営資金)

第15条 この支部の運営には次の資金を充てる。

- 1) 本部から助成される運営費
- 2) 地方会参加費
- 3) 事業に伴う収入
- 4) 寄付金
- 5) その他収入

(会計年度)

第16条 この支部の会計年度は、日本循環器学会定款に準ずる。

附則

- 1) この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2) 学術集会に演題を提出する者は原則として日本循環器学会に入会しなければならない。ただし支部長が許可した場合はその限りではない。

日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award 会則

1. 日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA) を設ける。
2. 本会則は平成21年2月14日に開催される第147回東北地方会から有効とし、本会則の変更は総会で審議・決定される。
3. 東北地方会 YIA の応募資格、応募方法は演題応募要領に記載するが、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
4. YIA 選考委員会は大会長を選考委員長として、各県大学の循環器内科教授6名と大会長が選出する6名の選考委員の計12名で構成される。選考委員に代理を置く場合は、教授選考員の場合は教室の准教授または講師に委託し、その他の6名の選考委員については大会長が再度選出する。

第156回 日本循環器学会東北地方会 YIA 審査委員（敬称略）

青森

弘前大学 循環呼吸腎臓内科学講座
青森県立中央病院 循環器センター

教授 奥村 謙
センター長 藤野 安弘

岩手

岩手医科大学 心血管・腎・内分泌内科分野
岩手県立中央病院 循環器センター

教授 中村 元行
センター長 中村 明浩

秋田

秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学
秋田組合総合病院

教授 伊藤 宏
副院長 齊藤 崇

山形

山形大学 内科学第一講座
篠田総合病院 循環器科

教授 久保田 功
医長 池田こずえ

宮城

東北大学 循環器内科学
国立病院機構仙台医療センター 循環器科

教授 下川 宏明
循環器科部長 篠崎 毅

福島

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座
大原総合病院

教授 竹石 恭知
副院長 石橋 敏幸

日本循環器学会東北支部役員（平成25年4月1日現在）

[illegible]

支部評議員（各県ごと五十音順、○印は社員）

青	森	○奥平	村賀	謙仁	長福	内田	智幾	宏夫		花藤	田野	裕安	之弘
岩	手	森	藤	康									
秋	田	伊佐	藤村	智元	岡瀨	林川	郁真	均夫		小田	松代		隆敦
山	形	○中森	野	禎	蒔	田		司		茂	木		格
		阿小	部林	芳政	○伊齊	藤藤	芳文	宏崇		門佐	脇藤	匡正	謙也
		鈴長	木川	仁	田山	村本	邦	一雄		○渡	川邊	博	康之
		池金	田谷	乙透	石久	井田	裕幹	明功		小後	熊藤	正敏	樹和
		貞福	弘井	光昭	○角松	田井		一之		廣宮	野脇		摂洋
宮	城	○渡	邊	哲									
		○伊加	藤谷	健	○伊金	藤塚	貞	嘉完	3	井上	上月	直正	人博
		小坂	丸田	達泰	○齋佐	木藤	佳昇	克一	1	西下	條川	芳宏	文明
		○富柳	岡澤	智輝	○福山	本家	義智	弘之		堀	内	久	德
福	島	石木	川島	和幹	石齋	橋藤	敏修	幸一		金齋	澤藤	正富	晴善
		杉前	原	正和	○竹横	石山	恭	知齐	1	武渡	田辺	寛	人毅
會計監事		石福	出本	信義	猪伊	岡藤	英健	二太		福	田	浩	二

1. 外科分野 2. 女性分野 3. その他の分野

DVDセッション 「医療安全・医療倫理に関する講演会」

専門医の認定更新に必修の「医療安全・医療倫理に関する研修」に関する2単位を取得できるDVDセッションを開催致します。

3月の日本循環器学会学術総会もしくはインターネットでも視聴できます。
詳細は以下をご覧ください。

循環器専門医認定年度と必修研修取得期間について

認定年度	最新の認定or 更新年度	現在の認定期間	必修研修取得期間
1994 1999 2004 2009	2009年度	2009/4/1 ～2014/3/31	同左
1990 1995 2000 2005 2010	2010年度	2010/4/1 ～2015/3/31	同左
1991 1996 2001 2006 2011	2011年度	2011/4/1 ～2016/3/31	同左
1992 1997 2002 2007 2012	2012年度	2012/4/1 ～2017/3/31	同左
1993 1998 2003 2008 2013	2013年度	2013/4/1 ～2018/3/31	同左

〈必修研修と単位数〉

専門医制度委員会、理事会、2009年3月20日の評議員会の審議を経て循環器専門医認定更新の際に所定の研修が必修となりました。

専門医認定更新には下記の必修研修単位を含む合計50単位が必要となります。

(1) 最新医療の知識習得に関する研修……30単位以上

日本循環器学会主催の学術集会・地方会（いずれも教育セッションを含む）への参加にて単位を取得してください。

該当の研修単位数……本会年次学術集会10単位、(学術集会時の) 教育セッション5単位、各地方会5単位、(地方会時の) 教育セッション3単位

(2) 医療安全・医療倫理に関する研修……2単位以上

本会学術集会または本会地方会で開催の「医療安全・医療倫理に関する講演会」への参加。
あるいはインターネットでの視聴研修プログラムによる研修で単位を取得してください。

単位数……(上記どの方法で取得されても) 2単位

※ 同じ研修内容を視聴された場合には重複して単位は加算されませんのでご注意ください。

お問い合わせ先：(一社) 日本循環器学会 専門医制度委員会 TEL：075-257-5830 E-mail: senmoni@j-circ.or.jp
--

